

ふくしま被災者支援ネットワーク 会則

1、設立の目的

福島県は地震・津波・原発・風評の被害を受け、多くの被災者が今も避難生活を余儀なくされている状況です。その中で、県内には多数の支援活動を行っている方々があり、支援の輪は県内にとどまらず県外・国外にまで広がりを見せております。ふくしま被災者支援ネットワークは、県内で被災者支援活動にあたっている県内外のNPO・NGO、学生、社会福祉協議会職員、行政職員、その他被災者支援活動に携わる団体・個人で、情報・意見交換を交わしたうえで支援についての在り方を共に考え、県内で支援活動者のネットワークを創る事で、より一層充実した支援体制を構築することを目的としております。

2、活動の内容

支援活動者のネットワークを活かした情報交換等による支援活動の強化

3、入会

「ふくしま被災者支援ネットワーク」のメーリングリストへ参加を呼びかけ、加入意志を表明された方に参加頂いております。

4、運営方法

呼びかけ人である天野和彦（ビックパレット避難所県運営チーム）、稲垣文彦（中越復興市民会議）、鈴木和隆（特定非営利活動法人うつくしま NPO ネットワーク）による合意によって、会員の情報交換及び課題の共有することでそれぞれの活動へ反映させるよう、特定非営利活動法人うつくしま NPO ネットワークが事務局を運営する。

5、会費

無し